

国語科学習指導案

単元名

「1ねん くみ すきなものひろば」

をつくろう

教材名 すきなもの おしえて

重点化した指導事項

「A 話すこと・聞くこと」

ア 伝えたい事を選び、相手に分かるように話すこと。

イ 大事な事を落とさないようにしながら、興味をもって聞くこと。

「B 書くこと」

ア 相手や目的を考えながら書くこと。

重点化した成長課題

自分らしさの発揮

感じたままを素直に表現しようとする。

4. 単元目標

< 生き方の基礎・基本 >

- ・ 相手が伝えたいと思っている事柄に興味をもつ。
- ・ 自分の気持ちや行為を相手に伝えることを楽しむ。

< 学び方の基礎・基本 >

- ・ 尋ねたい事柄を選び、相手を決め、分かりやすく話す。

< 知識・技能の基礎・基本 >

- ・ 大事なことを落とさないように聞く。
- ・ 伝えたいことを文や文章で表す。

5. 単元の評価規準

国語への関心・意欲 ・態度	(ア) 自分の気持ちを相手に伝えることを楽しむ。
話す・聞く力	(イ) 尋ねたいことが相手によく分かるように話す。 (ウ) 大事なことを落とさないように聞く。
書く力	(エ) 友だちに聞いたことをもとに、伝えたいことを文に書く。

6. 指導計画 (4時間)

	学 習 活 動 (本時 1 / 4)	評 価 () と 支 援 (・)
1	<p>友達に好きなものを尋ね、自分の知りたい事を教えてもらう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教師が丁寧な言葉づかいで、尋ね方の模範を見せ、やり方を理解する。 ・隣同士で、やってみる。 ・他のいろいろな友だちに尋ねる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・相手が伝えたいと思っている事に興味をもって、相手の顔を見てしっかり聞く。 ・尋ねたい事が相手によく分かるように話す。(イ) ・口をしっかりと動かして、最後まではっきり聞こえるように話す。
2	<p>「1ねん くみすきなものひろば」を作るために、みんなに教える文章を書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・誰の好きなものを作文に書くか決め、友だちに教えてもらった事をメモしておく。 ・どのように作文に書いたらよいか教科書の作文から理解する。 ・決めた相手の友達から聞いたことを文章に書く。 	<p>大事なことを落とさないように聞く。(ウ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・二文で書くこと、その中に相手の名前と好きなものを入れる事を押さえる。 ・友だちに聞いた事をもとに、伝えたいことを文章に書く。(エ) ・文の終わりに句点を打つ。
3	<p>「1ねん くみすきなものひろば」の発表会をする。</p>	<p>自分の気持ちを相手に伝える事を楽しむ。(ア)</p>

7. 本時目標

相手の好きな事に興味をもち、尋ねたい事が相手によく伝わるように話す。

8. 本時の展開

学習活動と内容	支援 (・) と評価 ()
<p>1. 教師による尋ね方の模範を見て、やり方を理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・聞くときは、相手の名前と尋ねたい事を入れる。 ・相手が聞きやすいように口をはっきり動かして話す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・グループに分かれて座る。(3人組) ・簡単な尋ね方をおさえる。 ・好きな物には、いろいろあることにふれる。 ・丁寧な言葉遣いで話す。
<p>ともだちに、すきなものをおしえてもらおう。</p>	
<p>2. 友だちに好きなものをよく分かるように尋ねる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まず、グループの友だちに教えてもら 	<p>尋ねたい事が相手に良く分かるように話しているか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・尋ねられる人は、相手の方を見て何を

う。

- ・慣れてきた様子を見て、他の友だちに教えてもらう。

3 . 学習をふりかえる。

- ・どのくらい友だちの話をしっかり聞いたかを振り返る。
- ・誰の話し方が聞きやすかったかも振り返る。

教えて欲しいのか考えて聞くように声掛けをする。

- ・いすとりゲーム的に聞く人を決めることでリラックスした雰囲気を出したい。

- ・上手な尋ね方ができた子どもに前に出て来てやってもらい、どこが良いのか確かめる。